

令和4年度
第32期

事業報告書

〔 令和 4年4月 1日から
令和 5年3月31日まで 〕

株式会社 銚子マリーナ

事業報告書

〔 令和 4年4月 1日から
令和 5年3月31日まで 〕

I. 営業の概況

1. マリーナ関連施設の整備状況、営業の経過並びに成果及び今後の課題

(1) マリーナ関連施設の整備状況

震災後は、平成25年4月から、センターハウス・ディングーハウス・整備工場等の主要施設が稼働し、マリーナ施設の根幹である浮棧橋についても電気・水道の利用が可能となり契約者・利用者が利用できる環境が整っています。今後は、マリーナ施設の長寿命化を見据えた施設補修の方向性を関係機関と協議してまいります。

(2) 営業の経過及び成果状況

当期においては新型コロナウイルス感染防止措置としてイベント等は中止となりましたが、契約艇数増加に伴い、燃料・部用品の売上高も計画より大幅な増加につながりました。

ア. 保管状況

契約艇の推移

(単位：艇)

区 分	令和4年3月末日 (令和3年度)			令和5年3月末日 (令和4年度)			増 減
	海上保管	陸上保管	合 計	海上保管	陸上保管	合 計	
クルーザーヨット	51	14	65	54	15	69	4
モーターボート	45	20	65	43	22	65	0
小 計	96	34	130	97	37	134	4
ディングーヨット		11	11		12	12	1
水上オートバイ		1	1		5	5	4
合 計	96	46	142	97	54	151	9

イ. 利用料収入及び売上状況

(単位：千円)

商品名	令和3年度		令和4年度					
	実績	構成比	計 画	実 績	構成比	達成率	前年比	
売上高	利 用 料	58,379	53.0%	57,954	62,283	53.7%	107.5%	106.7%
	そ の 他 利 用 料	3,634	3.3%	2,986	2,922	2.5%	97.9%	80.4%
	燃 料 売 上	10,374	9.4%	9,400	10,202	8.8%	108.5%	98.3%
	修 理 売 上	9,946	9.0%	9,250	9,281	8.0%	100.3%	93.3%
	部 品 ・ 用 品 売 上	27,814	25.3%	14,500	31,333	27.0%	216.1%	112.7%
	合 計	110,147	100%	94,090	116,021	100%	123.3%	105.3%

ウ. 営業成績及び財産の状況の推移

(単位：千円)

区 分	第29期 (平成31年4月 ～令和2年3月)	第30期 (令和2年4月 ～令和3年3月)	第31期 (令和3年4月 ～令和4年3月)	第32期 (令和4年4月 ～令和5年3月)
総 売 上 高	99,993	93,964	110,147	116,021
経 常 利 益	9,007	8,247	15,616	17,857
特 別 損 益		1,291		
税引前純利益	9,007	9,538	15,616	17,857
当 期 純 利 益	6,139	6,803	11,426	11,226
1株当たりの 当 期 純 利 益	1,534円80銭	1,700円82銭	2,856円39銭	2,806円43銭
総 資 産	144,645	158,597	180,650	198,822
純 資 産	105,537	112,340	123,766	134,992

エ. 主な事業活動

本年度におきましては新型コロナウイルス感染防止対策の為各種イベントは全て中止とさせていただきます。

(3) 今後会社に対処すべき課題

経営の安定化とマリーナを核とした地域活性化を目指し、関係行政機関や関係事業者と連携を密にして、次の事項について積極的に事業の展開を図ってまいります。

1. 保管契約艇数の更なる増加を目指す集艇活動の展開と契約者のみならずビジター利用者に対するサービスの向上及びリピート利用の促進
2. 絶景のロケーション等を広く一般の方々にも認知していただけるようなレクリエーション基地としての営業活動及びメディア等への情報発信
3. マリーナ施設の長寿命化を見据えた維持管理及び修繕方針に関する千葉県及び銚子市との合意形成

II. 会社の状況

1. 主要な事業内容

- (1) マリンレジャー施設の整備、管理及び運営業務
- (2) 舟艇の保管業務及び保守点検業務
- (3) 舟艇及びマリンレジャー機器類の販売及び賃貸業務
- (4) ガソリン、軽油等の舟艇用燃料の販売業務
- (5) マリンレジャー用品、アクセサリ、日用品雑貨、食料品等の販売業務及びこれらの販売店の経営
- (6) 不動産の賃貸及び管理業務
- (7) マリンレジャー関連業務の受託業務
- (8) 損害保険代理業務
- (9) 犬、小動物等の遊園施設の運営業務及びペット用品の販売業務
- (10) 前各号に付帯する一切の事業

2. 株式の状況

(1) 発行株式数及び株主数

発行する株式の総数	4,000株
発行済み株式総数	4,000株
株主数	8名

(2) 大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	所有株式数	議決権比率	所有株式数	議決権比率
銚子市	2,200株	55.00%	0株	0%
ヤマハ発動機(株)	1,000株	25.00%	0株	0%
ヤンマー船用システム(株)	200株	5.00%	0株	0%
(株)千葉銀行	192株	4.80%	0株	0%
学校法人加計学園	158株	3.95%	0株	0%
銚子市漁業協同組合	150株	3.75%	0株	0%
三菱商事(株)	50株	1.25%	0株	0%
(一社)銚子市観光協会	50株	1.25%	0株	0%

3. 従業員の状況

在籍従業員数4名

4. 取締役及び監査役

令和5年3月31日現在

会社における地位及び担当又は主な職業		
代表取締役会長	越川 信一	銚子市長
代表取締役社長	島田 重信	銚子市副市長
取締役	鈴木 雅文	ヤマハ発動機(株)マリン事業本部 マーケティング 統括部 マーケティング部 部長
取締役	土屋 良二	ヤンマー船用システム(株) 東日本営業部 営業部長
取締役	小高 信和	(株)千葉銀行 常務執行役員
監査役	坂本 雅信	銚子市漁業協同組合 代表理事組合長
監査役	宮内 昭三	元銚子市議会議員

(注) 当期中の取締役の異動

無し

令和4年度
第3 2期計算書類

〔 令和 4年4月 1日から
令和 5年3月31日まで 〕

貸 借 対 照 表
損 益 計 算 書
株主資本等変動計算書
個 別 注 記 表

株式会社 銚子マリーナ

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I. 流動資産 111,976,145 現金 2,279,834 銀行預金 92,365,023 売掛金 5,851,227 商 品 4,862,067 前渡金 78,573 前払費用 3,168,523 未収入金 3,313,298 立替金 57,600	I. 流動負債 63,829,839 買掛金 2,517,856 未払金 17,272,535 前受金 32,371,538 預り金 7,131,410 納税充当金 4,536,500		
II. 固定資産 86,845,571	負債の部合計 63,829,839		
有形固定資産計 85,709,947 建 物 18,280,747 機械装置 2,835,961 建物付属設備 12,569,680 船 舶 12,794,246 車輛運搬具 80,996,510 リース資産 13,545,000 備 品 9,349,051 減価償却累計額 -64,661,248 無形固定資産計 985,624 電話加入権 590,824 リース資産（無形） 394,800 投資その他の資産 150,000 保証金 150,000	純 資 産 の 部		
	I. 資本金 200,000,000 資本金 200,000,000 II. 利益剰余金 -65,008,123 繰越利益剰余金 -65,008,123 (1)前期繰越利益 -76,233,869 (2)当期純利益 11,225,746		
	純資産の部合計 134,991,877		
資産の部合計 198,821,716	負債・純資産の部合計 198,821,716		

損 益 計 算 書

令和 4年4月 1日から
令和 5年3月31日まで

(単位：円)

1. 経常損益の部		
(1) 営業損益の部		
売上高		116,021,112
売上原価		37,521,170
(売上総利益)		<u>78,499,942</u>
販売促進費及び一般管理費		65,234,219
(営業損益)		<u>13,265,723</u>
(2) 営業外損益の部		
営業外収益		
収入利子	229	
業務委託料	3,693,636	
雑収入	897,292	
		<u>4,591,157</u>
(経常利益)		<u>17,856,880</u>
2. 税引き前当期利益		<u>17,856,880</u>
3. 法人税、住民税及び事業税		<u>6,631,134</u>
4. 当期純利益		<u><u>11,225,746</u></u>

株主資本等変動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

	株 主 資 本						株 主 資本合計	評 価 換算差額等	新 株 予約権	純資産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金		自 己 株 式				
		資 本 準 備 金	そ の 他 資本剰余金	利 益 準 備 金	繰 越 利 益 剰 余 金					
前期末残高	200,000,000	0	0	0	-76,233,869	0	123,766,131	0	0	123,766,131
当期変動額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新株の発行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期純利益	0	0	0	0	11,225,746	0	11,225,746	0	0	11,225,746
当期変動額合計	0	0	0	0	11,225,746	0	11,225,746	0	0	11,225,746
当期末残高	200,000,000	0	0	0	-65,008,123	0	134,991,877	0	0	134,991,877

個 別 注 記 表

自 令和 4年4月 1日
至 令和 5年3月31日

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価法

最終仕入れ原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

有形固定資産
定額法を採用しております。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜き方式を採用しております。

II 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式総数 4, 0 0 0株

III 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、 3 3, 7 4 7円9 6 銭であります。
2. 一株当たり当期純利益は、 2, 8 0 6円4 3 銭であります。

監査役の監査報告書の謄本

監 査 報 告 書

私達は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの第32期営業年度の貸借対照表、損益計算書、事業報告書、株主資本等変動計算書及び附属明細書を監査しました結果、適法かつ適正であることを認めます。

令和5年5月10日

株式会社 銚子マリーナ

監査役 坂 本 雅 信

監査役 宮 内 昭 三

令和4年度
第32期付属明細書

〔 令和 4年4月 1日から
令和 5年3月31日まで 〕

株式会社 銚子マリーナ

1. 資本金の増減

(単位：円)

区 分	期 首 残 高	当期増加額	当期減少額	期 末 残 高
(発行済株式)	(4,000株)	(0株)	(0株)	(4,000株)
資 本 金	200,000,000	0	0	200,000,000

2-1. 販売促進費及び一般管理費明細

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
交際費	24,344	給与	16,686,921	消耗工具備品費	1,489,780
広告宣伝費	551,160	賞与	4,888,224	業務委託費	958,857
諸会費	281,250	雑給	4,072,875	図書研修費	0
サービス料	563,100	法定福利費	3,348,545	減価償却費	5,444,249
運送費	38,460	厚生費	672,055	修繕費	6,602,300
		出向業務負担金		【一般管理費計】	34,107,285
		【人件費計】	29,668,620		
【販売促進費計】	1,458,314	旅費交通費	685,778		
		水道光熱費	4,896,943		
		事務用消耗品費	136,493		
		リースレンタル料	624,720		
		通信費	827,784		
		保険料	2,318,363		
		雑費	630,012		
		維持管理費	9,214,986		
		租税課金	277,020	経費合計	65,234,219

2-2. 期首期末商品明細

(単位：円)

科 目	期 首 金 額	仕 入 金 額	売 上 原 価	期 末 金 額
燃 料	1,107,811	7,703,810	7,486,498	1,325,123
部 品	5,698,948	21,007,304	23,302,758	3,403,494
修 理	495,600	6,369,764	6,731,914	133,450
合 計	7,302,359	35,080,878	37,521,170	4,862,067

3. 営業外収益

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
受 取 利 息	2 2 9	預金利息
業 務 委 託 料	3, 6 9 3, 6 3 6	名洗公園指定管理料
雑 収 入	8 9 7, 2 9 2	自販機売上手数料、シースタイル助成金等
合 計	4, 5 9 1, 1 5 7	

4. その他

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
法人税、住民税及び事業税	6,631,134	
合 計	6,631,134	